

査読者申し込み

【更新ポイントの注意事項】

本システムで査読を行った場合、査読者の更新申請に必要な査読ポイントの証明書類の保存は不要となります。

但し申請時にポイント申請される際には、査読した件数を申告してください。

【査読者】

1. 認定訪問療法士 ID でログイン
2. 該当研修会ページを選択
3. 査読者登録ボタンをクリック
4. 確認メッセージの OK をクリック

The screenshot shows a web browser window with a confirmation dialog box overlaid on top. The dialog box title is "houmon.kir.jp の内容" and the message is "査読者登録いたしますか?". There are two buttons: "OK" and "キャンセル". Below the dialog box, the website content is visible. The page title is "研修・大会案内詳細情報". The main content area shows details for a "審査会テスト認定審査11月3日" event, including dates (2020年11月03日(火) ~ 2020年12月01日(火)), time (18:35 ~ 18:35), and participants (テスト 法人2さん, テスト 法人1さん). At the bottom right of the main content area, there is a green button labeled "査読者登録" with a red arrow pointing to it. On the right side of the page, there is a sidebar menu with a "研修" icon and a list of items including "2020年度審査会", "2020年度テスト", "2020年度テスト", "2020年度テスト", "2020年度テスト", "2020年度テスト", "2020年度審査大", "2020年度第19回", and "2020年度".

右下の【査読者登録】ボタンを押すと上部に確認メッセージが表示されます。

5. 認定訪問療法士以外の ID では下記のように登録ボタンが表示されません。

研修・大会案内詳細情報

→テスト認定審査

スケジュール | 更新情報

開催月日 2020年09月13日(日) ~ 2020年10月01日(木)

開催時間 10:15 ~ 10:15

PageTop ↑

スケジュール

PageTop ↑

更新情報

更新情報最新5件表示=>更新情報一覧表示

PageTop ↑

6. 一度査読者として登録すると二重登録できません

査読者登録した ID でログインし該当ページを表示しても下記のように登録済みの表記

研修・大会案内詳細情報

→テスト認定審査

スケジュール | 更新情報

開催月日 2020年09月13日(日) ~ 2020年10月01日(木)

開催時間 10:15 ~ 10:15

参加メンバー test no1さん

登録順最新10名表示=>参加者一覧表示

田辺 no1さんは査読者登録済みです。

PageTop ↑

スケジュール

PageTop ↑

更新情報

更新情報最新5件表示=>更新情報一覧表示

PageTop ↑

査読の実施

【査読者】

日本訪問リハビリテーション協会事務局または認定審査会より査読期間が示されます。その期間中下記の手順で査読を実施してください。(期間外では査読開始ボタンは表示されません)

1. 査読者に登録したIDでログイン後、該当研修会ページにすすむ
2. 【査読開始】ボタンをクリック

研修・大会案内詳細情報

→審査会テスト認定審査11月3日

| スケジュール | 更新情報 |

開催月日 2020年11月03日(火) ~ 2020年12月01日(火)

開催時間 18:35 ~ 18:35

参加メンバー テスト 法人2さん テスト 法人1さん

登録順最新10名表示=>参加者一覧表示

査読開始

3. 担当事例が表示される

担当査読資料はシステムにより自動で割り振られます。一覧に表示されるすべての資料について査読をお願いします。

リスト右側の査読ボタンをクリックしてください。

研修・大会案内詳細情報

→ 査読一覧：テスト認定審査

ID	任命日	タイトル	タイプ	操作
14	2020/09/27	目標達成後の変化に対応し活動と参加をサポートできた症例	事例報告書	査読
15	2020/09/27	事例：訪問リハによる無料相談活動	事例報告書	査読

PageTop ↑

4. 査読画面（下記図の左が上、右が下半分を示す）

研修・大会登録 & 編集

→ 活動報告書 査読審査票

会員番号	60001-001
分類	脳血管疾患系
キーワード1	あああ
キーワード2	いいい
キーワード3	sss3
題名	目標達成後の変化に対応し活動と参加をサポートできた症例
本文	<p>【事例紹介】（氏名や日付など個人の特定ができないように注意。例：A氏、Z市、X年） 80代男性、X年7月脳梗塞発症され約3カ月の入院加療を経て自宅退院となった。右上下肢の軽い麻痺は残ったが日常生活は自立しており介護認定は要支援1。サービスは使用せず退院後約半月過ぎてもTIA発症し約4週間の経過観察入院となった。冬を前に本人本人とも不活動と再発を懸念され家族生活の安定と生活指導を目的に同年11月下旬に訪問リハの処方となった。</p> <p>【評価】（状態の分析） 若い時には都市部の写真館で就業したこともあったが、右股関節のケガを機に簿記と農業に従事していた。段差の多い日本家屋に妻と二人暮らし。趣味はカメラや野菜作り割としては車の運転をして妻と買い物、音かき機による音かきと畑の管理が主なものでた。性格は、まわりの方に常にこやかで温厚な方であった。日常生活動作はすべて目いているが、右膝の痛みと歩き難さを訴え家人の心配も相まって外出は控えていた。 右BRS：上下肢手指VI。右大腿骨頭部骨折の既往あり左に對して下肢長が-5cm。円背を体幹の回旋に制限がみられた。右内転筋を認めQアングルは立位で10度。歩容は右側偏の跛行と膝のラテラルラストを認めた。約50mの屋外歩行器歩行で息切れを認めるも等に問題なく高次脳機能に困難は見られなかった。</p> <p>【目標と介入】 転倒を予防しながら冬期間の音かき機の自立と春になれば畑作業への一部復帰を目指す。介入の方針としては、家庭環境の調整を行ったうえで、音かき機の使用練習・畑の不整地歩行練習などを家人と一緒にを行い、ご本人の能力をみていただくことで安心いただけるよう努めることとした。</p> <p>【経過又は結果】（その後の経過や取り組みの結果を記入。） 介入当初玄関上がりなどの段差の解消のため家屋改修をおこない、早期に屋内の移つて困難の訴えは無くなった。降雪する時期には、屋外での音かき機の使用練習を併当初心算の始動や方向転換に手助けする場面も見られたが徐々に動作は安定した。この期から地区の会合などへも参加されるようになり活動量が増えた。その後、順調に体力復し約150mの連続歩行器歩行でも息切れは見られなくなった。季節は春となり耕運機用練習を開始。耕運機の使用が準備等も含め自立して当初の目標が達成された。しかし動量が増えたことにより足底第5中足骨頭部に痛感が発症、痛みにより再び歩行困難るようになった。入院中補高した靴が処方されていたが農作業用のものが無く、新たに母趾球へ重心を誘導する足底板を設置した。その結果、足底板使用時、立位Qアングル度となり歩行時のラテラルラストが減少、膝と脛の痛みが軽減した。現在は、家人心いたただき一緒に畑作業を楽しんでいる。</p> <p>【考察・まとめ】 当初より活動意欲があり音かき機作業などが行えた。これが目標となり活動の広が認め体力向上と目標の達成に至ったと考える。しかし、一方で活動の拡大は障害側に新しい問題を発生させた。目標達成後直ちに終了とせず活動内容に合わせた生活変を行うことで活動と参加をサポート出来たと考える。</p>

以下の項目について、4段階の評価のうち該当する数字
（4：「十分」、3：「ある程度十分」、2：「やや不十分」、1：「不十分」）をご記入ください

訪問リハビリテーションの事例である（事例紹介）	<input type="text"/>
事例の紹介が分かりやすくされている（事例紹介）	<input type="text"/>
事例の状態分析と課題が明確である（評価）	<input type="text"/>
評価の指標、観察評価ポイントが明確である（評価）	<input type="text"/>
目標の設定および実施計画の根拠が明確である（目標と介入）	<input type="text"/>
介入による生活への影響が明確である（目標と介入）	<input type="text"/>
介入経過に対する考察と再評価がされている（経過又は結果）	<input type="text"/>
矛盾・飛躍・重大な誤り無く、読者から見て信用がおける（全体）	<input type="text"/>
用語や文章表現に誤りが無く、記述は読みやすい（全体）	<input type="text"/>
理論の発展や臨床実践に役立つ内容がある（全体）	<input type="text"/>
2段階の評価のうち該当する数字（2：「配慮されている」、1：「配慮が不十分」）をご記入ください	<input type="text"/>

査読者総合コメント ※①②③について必ずご記入ください。 ※

①査読者がこの事例報告について感じた点、良い点についてご記入ください。
②誤字・脱字の有無、文章表現（敬語・口語体・文語体など）の慣用、及びその箇所をご記入ください。
③問題点及び修正方法、改善案をご記入ください。

※のついた箇所は必須になります。

入力内容の確認

査読一覧へ戻る

スクロールして査読してください。

各項目を入力し入力内容の確認ボタンを押す

5. 下記の確認画面で【登録する】を押す

研修・大会登録&編集

→活動報告書 査読審査票

以下の項目について、4段階の評価のうち該当する数字
(4:「十分」、3:「ある程度十分」、2:「やや不十分」、1:「不十分」)をご記入ください

訪問リハビリテーションの事例である(事例紹介)	4
事例の紹介が分かりやすくされている(事例紹介)	1
事例の状態分析と課題が明確である(評価)	2
評価の指標、観察評価ポイントが明確である(評価)	3
目標の設定および実施計画の根拠が明確である(目標と介入)	4
介入による生活への影響が明確である(目標と介入)	4
介入経過に対する考察と再評価がされている(経過又は結果)	1
矛盾・飛躍・重大な誤りが無く、読者から見て信用がおける(全体)	2
用語や文章表現に誤りが無く、記述は読みやすい(全体)	3
理論の発展や臨床実践に役立つ内容がある(全体)	2

2段階の評価のうち該当する数字(2:「配慮されている」、1:「配慮が不十分」)をご記入ください

査読者総合コメント *①②③について必ずご記入ください。 *

- ①査読者がこの事例報告について感じた点、良い点についてご記入ください。
- ②誤字・脱字の有無、文章表現(敬語・口語体・文語体など)の誤用、及びその箇所をご記入ください。
- ③問題点及び修正方法・改善策をご記入ください。

ああああ

*のついた箇所は必須になります。

登録する

戻る

査読一覧へ戻る

PageTop ↑

6. 登録すると下記の画面に戻る

期間中査読のやり直しが行えます。担当する報告書について査読を行ってください。

研修・大会案内詳細情報

→査読一覧：テスト認定審査

ID	任命日	タイトル	タイプ	操作
14	2020/09/27	目標達成後の変化に対応し活動と参加をサポートできた症例	事例報告書	査読
15	2020/09/27	事例：訪問リハによる無料相談活動	事例報告書	査読

[PageTop ↑](#)

査読が困難になった場合お手数ですが事務局までお知らせください。
なお査読状況によってポイントは付与されないことがありますのでご了承ください。

【査読更新ポイントの確認】

本システムで査読した場合、認定審査の全工程が終了した段階で査読者のマイページで確認できます。
マイページ→各種手続き→研修履歴とポイント確認
(反映には時間がかかる場合がありますご了承ください)

7. 更新申請活動報告書の査読画面

研修・大会登録&編集

→活動報告書 査読審査票

会員番号	60004-001
キーワード1	キーワード1
キーワード2	キーワード3
キーワード3	キーワード4
題名	活動報告書表紙
本文	活動報告書 本文【1 事例紹介】【2 評価】【3 口頭と介入】【4 経過または結果】【5 考察・まとめ】

以下の項目について、4段階の評価のうち該当する数字
(4:「十分」、3:「ある程度十分」、2:「やや不十分」、1:「不十分」)をご記入ください

執筆者の活動が記載されている	-V
活動の紹介が分かりやすくされている	-V
活動の背景と課題が明確である	-V
選択したキーワードが本文中に反映されている	-V
批判的な表現が含まれていない	-V
法令を遵守している	-V
他の地域や団体憲法1に参考となる内容が含まれている	-V
矛盾・紛争・重大な誤りが無く、読者から見て使用が出来る	-V
活動に対する考察と再評価がされている	-V
用語や文章表現に誤りが無く、記述は読みやすい	-V

2段階の評価のうち該当する数字 (2:「配慮されている」、1:「配慮が不十分」)をご記入ください

読者総会コメント ※①②③について必ずご記入ください。 ※

①読者がこの事例報告について感じた点、良い点についてご記入ください。
 ②誤字・脱字の有無、文章表現(敬語・口語体・文語体など)の誤用、及びその箇所をご記入ください。
 ③問題点及び修正方法、改善案をご記入ください。

※のついた箇所は必須になります。

入力内容の確認

事例報告書と同様審査してください。

なお事例報告書と査読項目が異なりますのでご注意ください。